

# 湘南鎌倉人工関節センター

## チームワークと最高の技術で股関節痛の悩みを解消

「いい病院ランキング」(週刊朝日MOOK 朝日新聞出版)で、常に人工関節置換術股関節部門全国上位3位以内に入る湘南鎌倉人工関節センター。最強のチームワークを誇るスタッフのみなさんにお話を伺いました。



最小侵襲手術(MIS)の様子

### 今年開院10年を迎えます

大船駅から車で5分、閑静な住宅街にある湘南鎌倉人工関節センターは、人工関節置換術の専門施設として2004年10月に開院、これまでに最小侵襲手術を受けた患者数は5,600人を超えました(2013年12月まで)。

### 股関節の最小侵襲手術とは?

極小の皮膚の傷と筋肉、靭帯も必要最小限のダメージを与えるだけで行える手術、最小侵襲手術(MIS/Minimally Invasive Surgery)。一般的な人工関節手術では、手術後の傷が15~20cmですが、この方法では腿の付け根の外側に6~8cmの傷で済みます。また股関節の周りの筋肉や靭帯を切る範囲も必要最小限にとどめられるので、術後の回復、歩行、社会復帰も早くなります。早期退院ができるので、合併症のリスクも少なく、医療費も抑えられるというメリットもあります。



整形外科医師  
名倉誠朗さん

「10年」から「楽しい毎日」  
MISの勉強をしたくて、週1回5年間九州の病院から通い続けました。4月から毎日勤務します。MISは身体に対する負担が少ない、早期退院が可能な手術です。「手術を受けたことで生活が楽しくなった」と治療を感じてほしいですね。



整形外科医師  
落合俊輔さん

怖がらず気軽に相談に来てほしい

外来診察時にじっくり話を聞き、患者さんにとってベストな方法を考えます。専門施設なので「来たら手術しなければならぬ」と思われる方も多いと思いますがそんなことはありません。まずは気軽に相談に来てください。



総看護師長  
工藤留理子さん

院内どこでも「知った顔」

当院は専門知識を持つ看護師が多く、外来・手術・病棟すべての部門をローテーションで担当するので全員が患者さんを把握しています。患者さんも安心するように、悩みや不安をよく相談されています。頼っていただけるようにですね。



理学療法士  
二宮一成さん

精神的・心理的な支えになりたい

当院では手術の前からリハビリを始めます。痛みによる日常生活での悩みで苦しむ患者さんの気持ちを把握し、先生に報告します。患者さんに寄り添い、精神的・心理的な支えになりたい。退院後もしっかりサポートします。



医事課  
広瀬陽明さん

明るく爽やかにがモットー

開院当初から外来窓口で患者さんをお迎えしています。窓口は病院の「顔」。気持ちよく来院し、晴れやかな気分が帰ってもらおうと、明るく爽やかな環境を作ってみなさまのお越しをお待ちしております。



コーディネーター  
勝又美咲さん

医師と患者さんのクッションの役割

医師と患者さんの橋渡しがコーディネーターの仕事です。術前術後のカルテをチェックし、不安や悩みを伺って、医師につなぎます。不安を解消し、リラックスできる環境づくりを心掛けています。



院長  
平川和男さん

専門施設だからこぞできる最高の技術を

次の10年何をするのか?ここできできないこと、より良い技術の提供を追求していきます。日帰り手術も夢ではないでしょうし、合併症0%を目指すことも可能でしょう。そして、次を担っていく人たちのサポートも重要です。50年たっても100年たっても「あの関節センターいよいよ」と言っていただけのように、日々向上し続けます。



平川院長を囲んで。風通しの良さがチームの絆を強くしている。



湘南鎌倉人工関節センター  
☎0467(47)2377(代表)  
http://www.skjrc.jp  
〒247-0061 鎌倉市台5丁目4-17

